

総合的な学習の時間「チャレンジ」学習指導案

奈良市立済美小学校

5年1組（40名）

指導者 石田 通大

(1) 単元名

総合的な学習の時間「チャレンジ」

見つけよう！奈良の「すごい人」

(2) 単元の目標

- 奈良に関わる「すごい人」について調べたり、考えたり、インタビューしたりする活動を通して、済美のまち 奈良のまちの価値に気づき、次の社会をつくろうとしている。

【知識・技能】

- 奈良に関わる「すごい人」のよさを伝え、広めていくために、友達と意見を交流することを通して、自らの意見を深め、分かりやすく伝えることができる。

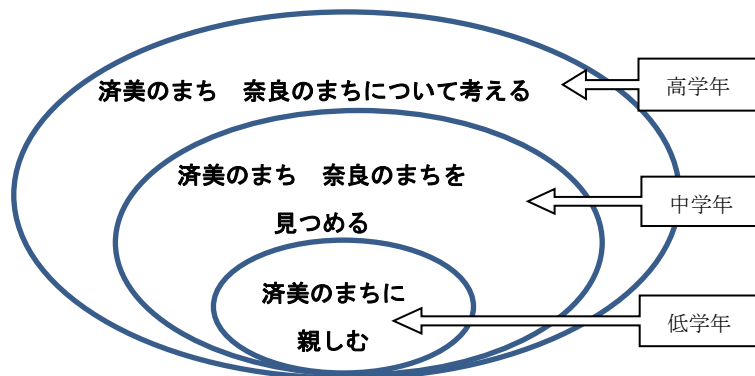
【思考・判断・表現】

- 目的に応じて様々なメディアを活用し、情報を工夫して収集したり編集したりし、自分の考えとして発信することができる。

【主体的に取り組む態度】

(3) 単元について

本校は、世界遺産学習を教育課程に位置付け、低学年より系統的な学習を積み重ねてきた。本校の近隣には、世界遺産「古都奈良の文化財」に含まれる元興寺や興福寺がある。それを活かし、地域に残る「人・もの・こと」を題材として生活科や総合的な学習の時間を中心に、いろいろな場面で世界遺産学習を展開している。これは、様々な視点から地域について自ら調べ、学び、考える学習を積み重ねることで、地域に誇りと愛着がもてるのではないかと考えているからである。そのため、低学年から空間も内容も同心円的に広がるような、地域について学び続けるカリキュラムをつくっている。



○ 児童観

本学年の児童は、低学年においては、学校探検やまち探検を通して、このまちに住む人の優しさに触れ自分達の住んでいる済美のまちのよさを感じることができた。

3年生では校区の様子（ならまち）について、社会科や総合的な学習の時間で、ならまちは人々の思いや努力によって、町並みや伝統工芸が昔の形のまま残されていることに気付くことができた。4年生では、四季を通じて奈良公園の自然を観察したり、地域の発展に尽くした人を調べたりすることにより、奈良のすばらしさに気付くことができた。また、その活動を仲間同士で交流することによって新たな発見につながったのではないかと考える。このように、済美のまち 奈良のまちに親しみ、見つめることによって、郷土の大

切さを理解できたのではないかと考える。

そこで、5年生では、世界遺産学習と重ね、「奈良の『すごい人』を探ろう」の学習を行い、「現在」の素晴らしい「ならやせいびのまち」があるのは先人の功績によるものであり、その先人の声に耳を傾け、先人の思いや願いについて考える学習を通して、ならのまちのすばらしさを発信していくことで、さらに地域に学び、地域に誇りと愛着をもつ児童の育成につながると考える。

○ 教材観

地域に誇りと愛着をもつことができる児童を育むため、「見つけよう！奈良の『すごい人』」をテーマに学習を行う。その際、旧JR奈良駅舎の保存に尽くした方々、忍性さん、聖武天皇、真如親王(しんによしんのう)、重源上人(ちょうげんしょうにん)、公慶上人(こうけいしょうにん)を取り扱う。

【JR奈良駅舎の保存に尽くした方々】

この駅舎は、1934年(昭和9年)に建てられた2代目の駅舎である。1300年前に都があった奈良には、今も数多くのお寺や神社があるが、それを意識したつくりになっている。このような駅舎は世界的にもとてもめずらしく、奈良に住んでいる人たちにとっても愛着のある『奈良のシンボル』とよばれるにふさわしい建物である。しかし、1998年(平成10年)、奈良県が進める「JR奈良駅付近連続立体交差事業」により、この駅舎が取り壊されることが発表された。そこで、岩崎さんを代表として、なんとか駅舎を残したいという人々(奈良市民)が立ち上がり、「JR奈良駅舎を生かす会」をつくり、アンケート調査をしたり、署名を集めたり(13000人)して保存運動を起こした。その結果、もとあった場所から北東へ約18m移動され、そのままの形で保存がなかった。

【忍性】

済美小学校の「済美」は忍性が生涯を通してやりたかったことが詰まっている。

「済」・・・様々なものをすくうという心

「美」・・・慈悲の美しい心

である。また、忍性さんの生涯を描いた絵本には次のような一節が記載されている。

奈良の北、奈良坂にハンセン病がひどくなって歩けなくなり、乞食をする場に行けない乞食がいた。そのため、乞食すらもできず、食をとれないでいた。当時最大西大寺にいた忍性は、哀れに思い、一日おきに、朝、背負って奈良の市に連れていき、乞食をさせ、夕方には奈良坂に連れて帰ったという。ハンセン病は、不治の病、恐ろしい伝染病などとみなされ近寄ることや助けることを誰もしない中、忍性はそれをやってのけた。また、遠くに大仏殿の屋根を望むことが出来る場所に北山十八間戸を立て療養する施設をつくった。

【聖武天皇】

743年、大仏造立の詔を発した。その中には、「動植ことごとく榮えんことを欲す」とあり、人間だけではなく、動物も植物も含めて共に榮えるような世を作りたいという願いが見て取れる。また、「如(も)し更に人有りて、一枝(ひとえだ)の草、一(ひと)把(にぎり)の土(ひじ)を持ちて、像を助け造らむと情(こころ)に願はば、恣(ほしいまま)に聴(ゆる)せ」からは、「一緒に作りたい、手伝いたいという人々の小さな力と思いを合わせて、心のこもった大仏を作りたい」という願いがみえる。

【真如親王(しんにょしんのう)】

855年、大仏の頭が落ちてしまう。聖武天皇の思いを受け継いで、「天下の人を令(し)て、一文(いちもん)の錢(ぜに)、一合の米を論ぜず、力の多少にしたがい、以(も)つて加え進むことを得(え)せしめん」と述べ、自分の力に応じた寄付をしてくれるよう呼びかけ、みんなの小さな力と思いを集めて大仏を修理した。

【重源上人(ちょうげんしょうにん)】

平安時代の終わりごろ、戦いのために大仏は焼かれてしまう。重源上人もこれまでの思いを受け継ぎ、「尺(しゃく)布(ふ)寸鉄(すんてつ)といえども、一木(いちぼく)半錢(はんせん)といえども」という言葉のように、布切れや鉄くぎ、木ぎれなどの小さな力と思いを集めて大仏を復興した。

【公慶上人(こうけいしょうにん)】

1567年、三好氏と争っていた松永軍の夜襲により、三好勢が陣をはっていた大仏殿は炎上し、再び大仏は崩れ落ちてしまう。戦国時代では大仏の復興も思うように進まず、胴体はなんとか復興できたものの、頭部は木のまわりに銅版を貼っただけで、大仏殿もなかった。これに心を痛め、公慶上人は「天下の仏心(ぶっしん)を集めて一仏(いちぶつ)となす」、「一針(いっしん)一草(いっそう)の喜捨(きしゃ)」を唱え、大仏と大仏殿の復興のために、小さな力と思いを集めた。

○ ESD の観点

上記のように旧JR奈良駅舎の保存に尽くした方々、忍性、また、大仏造立・復興には、4人の人物とそれに共感したたくさんの方々の小さな力と思いが込められている。「見つけよう！奈良の『すごい人』」という学習を通して先人の苦労や努力に光を当て、過去の人々の声に耳を傾けることで、これからの社会づくりの方向性を考えていく契機となるのではないかと考える。決して、文化遺産の保護や保存を追求する学習ではない。この先人の苦労や努力を尊重することは、縦の文化(過去・現在・未来)の【多様性】を尊重することでもあり、次の社会づくりの担い手意識、当事者意識を育むことができると考える。また、「見つけよう！奈良の『すごい人』」について学習することで、一人一人の力は小さいが、その小さな力と思いを集めることで、大きなことを成し遂げられることに気づき、相手のことを思い合える児童にも育てたいと考えている。【連携性】

また、このことを奈良を訪れられた全ての方々にも気付いてもらい、奈良を好きになっていただくためのきっかけとなるようにしたい。

○ 指導観

【世界遺産ってなんだろう？】

学習のはじめに世界遺産とは何かについて考えるため、DVDを視聴することから学習を始める。これはエジプトのアブ・シンベル宮殿についてである。そして、視聴後、「世界遺産とはなんだろう」と児童に問いかける。(DVDの概要は以下)

1960年代、ナイル川にアスワン・ハイ・ダム建設計画により、水没の危機にあったが、ユネスコによって、国際的な救済活動が行われた。1964年から1968年の間に、正確に分割されて、約60m上方、ナイル川から210m離れた丘へ、コンクリート製のドームを基盤とする形で移築された。現在ではアスワン・ハイ・ダム建設によってできた人造湖のナセル湖のほとりにたたずんでいる。この大規模な移設工事がきっかけとなり、遺跡や自然を保護する世界遺産が創設された。アブ・シンベル神殿は世界遺産の象徴的な遺跡で、文化遺産として登録されている。

【済美小学校の近くにも同じような流れで残った建物があるよ！】

次に、旧JR奈良駅舎について考えた。世界遺産の動画を見たその日に、「済美小学校の近くにも同じような流れで残った建物があるよ」と児童に問いかけ、「世界遺産とはなんだろう」と保護者の方に説明すると共に、それは何かについて聞き取りをする宿題を出し、一緒に考える時間を設けた。全く知らない保護者の方もいらっしやれば、「知ってるよ」と説明をして下さる保護者の方もおられた。そして、実際に旧JR奈良駅舎を見学し、「奈良市民の思いや願いはなんだろう」と児童に問いかける。さらに、旧JR奈良駅舎の学習から、奈良に生きる一人として、この大切な思いを受け止め、永く大切に守られてきた多くの『たからもの』を次の世代、次の世代へとそのまま受け渡していくバトンランナーの役割を果たしていく責任があることについて考える。

【自由研究 『済美のまち・奈良のまちの魅力再発見！』】

夏休みには、『済美のまち・奈良のまち 魅力再発見！』というテーマで自由研究に取り組む。奈良にある国宝や重要文化財やそこに関わる『すごい人』などについて調べ、現地に実際に赴き、その内容をまとめる。そして、2学期のはじめには、その発表会を開く。話し手は、自分の調べた内容を聞き手に分かりやすく伝えようとキーワードとなる言葉を大切にしながら行う。また、「どうしてそれが魅力的なのか」「なにが魅力的なのか」についても話をした。聞き手は、改めて自分たちの住む町のよさを知ること、これからもっと済美のまち・奈良のまちについて知りたい、多くの人々に知ってもらいたいという意欲を高めることができるのではないかと考える。

【どうやら「奈良にはもっと『すごい人がいたようだ！！その1』】

(その1)

自由研究を終えたところで、「奈良にはもっとすごい人がいるのではないだろうか」という児童の意欲の高まりを確認したところで、まず、「これは一体何だろう」という発問とともに忍性のお骨が収められている3枚のお墓の写真を提示する。次に、お墓だとわかった上でこれは、忍性さんという方のお墓だということを指導者から説明する。そして、「どうして3つのお墓にお骨が収められているのか」について考える。さらに、右の写真を提示し、これは、忍性さんが作られた北山十八間戸という建物だということを指導者から説明し、忍性さんについて調べる。そして、調べた内容をグループでまとめ、忍性についての大体を知り、学級全体で交流する。最後に、忍性の絵本を児童に提示し、「どうして絵本が作られているのかについて」考える。



(その2)

ゲストティーチャーとしてこの絵本を作られた浄土寺(三宅町)の住職さんに来ていただき、「どうしてこの絵本を作られたのかについて」お話をしていただく。その際、説明を加えながら絵本の読み聞かせをしていただく。そうすることで、絵本という表現方法を用いてどうして忍性を世間の方々に広めようとしたのかについて生の声で知ることになるのではないかと考える。

(その3)

学年全員の手絵本がある状態で、「忍性さんのここがすごい No.1～お気に入りの一文を紹介しよう～」という学習活動を展開する。理由を添えて自分にとってのお気に入りを紹介した後に友達のお気に入りを知ることによって忍性さんという人についてより深く考える。その活動の後に、DVDを鑑賞する。

【どうやら「奈良にはもっと『すごい人』がいたようだ！！その2』】

忍性さんの学習を終えて、「人」についての考えを深められたところで、世界遺産学習で奈良公園に行き、ボランティアガイドさんのお話を伺う。そして、正倉院に込められた光明皇后の思いに触れ、奈良時代に光明皇后もハンセン病患者に手助けをしたという話や、東大寺の大仏の顔の色と胴体の色が違うということに触れたい。そして、それにかかわった方々の思いを探りたい。

【一年間の学びをまとめ、デジタル絵本を作り、発信する】

一年間の学びを絵本にし、『すごい』を発信する。その際、校内への読み聞かせを行うと同時に、他校へも発信する。その際、読み聞かせの様子を動画に取り発信する。

発信先として、済美南小学校、西大寺北小学校、伏見小学校、東京都杉並区済美小学校、を考えている。

(4) 単元の評価規準

ア) 個別の知識・技能	イ) 思考力・判断力・表現力	ウ) 学びに向かう力、人間性等
1 奈良に関わる「すごい人」について調べたり、考えたり、インタビューしたりする活動を通して、済美のまち 奈良のまちの価値に気づき、次の社会をつくろうとしている。	2 奈良に関わるの「すごい人」のよさを伝え、広めていくために、友達と意見を交流することを通して、自らの意見を深め、分かりやすく伝えている。	3 目的に応じて様々なメディアを活用し、情報を工夫して収集したり編集したりし、自分の考えとして発信している。

(5) 単元展開の概要

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1. 世界遺産という考え方が生まれたエジプトのアブ・シンベル宮殿について編集されたDVDを視聴する。	○ 初めての内容について意識して視聴するようにする。	◇ 世界遺産について考えることができる。
2. 「世界遺産ってなんだろう」という学習課題を明確にして再度DVDを視聴する。	○ ワークシートを活用し、目的意識をもってDVDを視聴するよう促す。	◇ 世界遺産の本当に意味について考えることができる。
3. 世界遺産誕生と同じような出来事がこの近くで会ったことについて話をし、保護者の方に聞き取りをする。	○ 世界遺産誕生の考え方について保護者の方に話をするようにする。	◇ 「たからもの」について興味・関心をもつことができる。
4. 聞き取りの結果から、旧JR奈良駅舎保存について	○ 旧JR奈良駅舎保存について	◇ 目的に応じて様々なメディア

<p>良駅舎について調べる。</p>	<p>書かれた資料やインターネットなどを参考にするようにする。</p>	<p>を活用し、情報を工夫して収集し、その情報を取捨選択することができる。</p>
<p>5. 実際に旧 J R 奈良駅舎に行き、岩崎さんと同じように絵手紙（保存に尽くした方々の思いや願い）を書きお家に郵送する。</p>	<p>○ 実際に現地見学の感想から、思いや願いに迫るよう促す。</p>	<p>◇ 済美のまち・奈良のまちの価値に気付き、次の世代に受け継ごうとする心を養うことができる。</p>
<p>6. 『済美のまち・奈良のまち 魅力再発見！』というテーマで自由研究に取り組む。（夏休み宿題）</p>	<p>○ 「たからもの」に関わる人々についても一緒にまとめるように促すと同時に、懇談会で保護者の方にも啓発する。</p>	<p>◇ 済美のまち・奈良のまちの価値に気付き、次の世代に受け継ごうとする心を養うことができる。</p>
<p>7. 資料を基に、忍性について知り、調べる。</p>	<p>○ 写真が北山十八間戸だということを明かした上で調べる様にする。</p>	<p>◇ 調べた内容について考え、友達と意見の交流をすることを通して、自らの意見を深めることができる。</p>
<p>8. ゲストティーチャー（浄土寺【三宅町】住職さんにお越しいただき、絵本を基に、忍性の思いや願いについて迫る。</p>	<p>○ 「どうして今年初めて、忍性展を行ったのか」について観点を絞り、お話を聞くようにする。</p>	<p>◇ 忍性のすごいところについて考え、その方の思いや願いについて考えることができる。</p>
<p>9. 正倉院・東大寺の大仏について知る。</p>	<p>○ 知っている内容に付け加え、世界遺産学習の副読本を活用するように促す。</p>	<p>◇ 奈良の世界遺産について目的に応じてメディアを活用し、情報を工夫して収集することができる。</p>
<p>10. 世界遺産学習に行く。</p>	<p>○ ボランティアガイドさんに文化財に関わる人についてお話をさせていただくよう依頼すると同時に、その観点で文化財を見つめる様に促す。</p>	<p>◇ 済美のまち・奈良のまちの価値に気付き、次の世代に受け継ごうとする心を養うことができる。</p>
<p>11. デジタル絵本にまとめる。</p>	<p>○ これまでの学習から自分たちが『すごい』と感じた内容を中心に絵本にする。</p>	<p>◇ 奈良に関わるすごい人のよさを伝え、広げていくために友達と意見を交流することを通してデジタル絵本にまとめることができる。</p>
<p>12. 絵本にした内容を読み聞かせ</p>	<p>○ 相手意識を明確にもち、読み</p>	<p>◇ 絵本にまとめることを通して、</p>

たり、動画に取ったりして発信する。

聞かせるよう促す。

「すごい人」の価値に気づき、次の社会をつくろうとしている。

世界遺産、知っている?

古都奈良の文化財

- 東大寺 兼師手
- 元興寺 唐招提寺
- 平城宮跡 春日大社
- 興福寺 春日山原始林

事件 エジプトの遺跡が
↓
ダムにしまふ
↓
移動

人々次世代へ残す
思い願...

奈良のシンボル 愛着
旧JR奈良駅舎
~そして駅舎は残った
→ 反対する人がいた
→ 奈良市民 20%
→ なんとかして残した
→ カット → 80%削減
→ 保存に成功!

「たからものを未来に残す」
「次の世代に「ついで」」
「人々いつながる」
「大切」
「実は今東京にも...原宿馬場」

「協力」
「Help」
「思い」

済美や奈良のたからもの「守りたい」 (自由研究)

- 奈良には「たからものがたくさん」
- 奈良のたからものには「歴史」
- 実際に現地へ行ける「昔音」

「何思わない」
「知識がむね」
「無視...」

「当然」
「特別」
「おげん」
「などだらけ」

「伝える」
「知ってもらう」
「教える」
「興味を↑」

世界遺産学習へ行こう

知識↑おために
さらに...になるため
...に伝えるため

世界遺産学習を通して「受け継がれきた人々の思い」

一番伝えたいことは?
(東大寺)

聖武天皇
① 一握の草
② 一握の銭
③ 一握の米
④ 一握の土
⑤ 一握の石
⑥ 一握の心

「協力」
「願い」
「思い」

「座高・鼻・教」
「手の意味 指」
「昔の色 百」

「大仏の色 大きさ 水かきの意味」
「本名」
「手の意味」
「大仏は3代目」
「聖武天皇の思い」
「動袖成く 栄えんことを改す」

「協力」
「のべ260万人もの人々」
「願い」
「大仏の色 大きさ 水かきの意味」
「本名」
「手の意味」
「大仏は3代目」
「聖武天皇の思い」
「動袖成く 栄えんことを改す」

見よう奈良のすごい人、(済美) (美) (慈悲の心)

忍性さん

- 「自分の意見をもてる」
- 「考えがぶれぬ」
- 「周りの人をひきつける力」
- 「不平不満を言わない」
- 「人ができないこと」
- 「嫌むことをした人」
- 「おそれない」
- 「目標をわける」
- 「前に進む」
- 「平和でありたい」

「考え方を変える」
「変えさせたい」
「差別な世界」
「1.心に修行」
「歩み続けた」
「生きる喜び」
「救済」
「強い心」
「潔い心」
「人を救った」

「お母さんの」
「思い願いを受け継ぎ」
「そして実行した」